

8月21日 前期後半が始まりました

夏休みも終わり、学校に子どもたちが戻ってきました。長い夏休みとなりましたが、ご家庭や地域で過ごす子どもたちの様子はいかがだったでしょうか。暑い日が続きましたが、各地で地震や大雨による被害がおこり、あらためて防災・減災について考えさせられました。夏休み明けは、体調に気をつけながら前期のまとめに取り組み、後期につなげていきたいです。

夏休み明けの集団登校では校外指導部の方を始め、ボランティアの方々も子どもたちの安全のために朝早くから登校指導をして下さり、ありがとうございました。今後もさらに安全指導を徹底していきたいと思います。これからも引き続き児童の安全のため、ご協力をよろしくお願ひいたします。

校長講話より 夏休み前（7月19日）

気温も高くなっていたこともあり、夏休み前日の校長講話は各教室と校長室とをオンラインでつないで行いました。内容は、「きょうまでの学校生活をふりかえって」と題して、4月から7月までの、子どもたちの素敵な姿やがんばってきた姿を伝えるとともに、夏休み明けに、もう少し努力してほしいことなどを伝えました。



子どもたちの素敵な姿、がんばってきた姿は、「ひとり」・「みんな」・「ひとりとみんなで」というくくり方で子どもたちに伝えました。あわせて、子どもたちには、「日々の学びは、先生方だけでなく、保護者や地域の皆様に支えられている」ということも伝えさせてもらいました。

最後に、子どもたちには「もう少しがんばってほしいこと」として、下記のことを話しました。

★だいじなこと！

「じぶんがやられて
いやなことは、友だちにしない！
(「友だちの気持ち」を考える。)



4月から、きょうまでで…

- ▲友だちとの関わり方・いじめの問題
(「友だちをたたく」×、「悪口、いやなことを言う」×)
- ▲そうじ中の姿
(「おしゃべり」×、「最後まで」×)

校長講話より 夏休み明け(8月21日)

夏休みが終り再び学校が始まる8月21日も、オンラインで校長講話を行いました。

内容は、以下の二つです。

①『教室はまちがうところだ』(作:蒔田晋治、絵:長谷川知子
子どもの未来社)の読み聞かせ

②校長から子どもたちへ「3つのお願い」

最初に『教室はまちがうところだ』の読み聞かせをしました。子どもたちに一番伝えたかったところは、

「まちがったって だれかがよ なおしてくれるし 教えてくれる
困ったときには先生が ない知恵 しぶって 教えるで そんな教室作ろうやあ」

というくだりです。教室は、みんなが様々な考えを出し合うことで、一人ひとりの学びを深めていくところです。校長としては、「(担任の先生も含め)教室のみんなが、みんなで支え合う(学び会う)ことで、その教室にいる子どもたち全員のレベルが上がっていきますよ!そんな教室を創っていくのも、皆さん一人ひとりの心の持ち方次第なのですよ!」ということを伝えたいと思い、この本を紹介しました。

次に、校長から子どもたちに、以下の3つのお願いをしました。

- ・友だち、先生の はなしを しっかり聴く
- ・じぶんが やられて いやなことは、友だちに しない!
- ・そうじに 集中!

一つ目は、『教室はまちがうところだ』の読み聞かせとも絡めて、学びに向かう姿勢づくりをしてほしいという願いから。また、二つ目は、友だち関係をさらによいものにしていってほしいという思いから。そして三つ目は、自分たちが使う場所は、自分たちできれいにするという気持ちをさらに高めていくことで、四賀小を大切にするという気持ちをさらに強めてほしいという願いによります。(二つ目と三つ目のお願いは、夏休み前の校長講話で、子どもたちに「もう少しがんばってほしいところ」と伝えたこともあります。)

真夏のスタート(前期後半)から雪の降る12月まで、じっくりと学びに向かうことができる時期が始まりました。職員一同、子どもたちが「明日も学校に行きたい!」と思える四賀小学校にしていきたいと考え、努力して参ります。保護者の皆様におかれましては、今後も本校の教育活動へのご理解とご協力のほど、何とぞ宜しく願い申し上げます。



合同学校保健委員会(7月24日)



夏休み中に本校を会場に「合同学校保健委員会」が行われました。諏訪赤十字病院の臨床心理士 御子柴敬子先生を講師として、「子どもの心の成長とメンタルヘルス」と題してご講話いただきました。小学生、中学生、そして高校生と思春期に見られる子どもの心の変化について教えて頂くとともに、私たち子どもをとりまく大人がどう関わって行けば良いかについて、お話を聞きしました。子どもの心の中に生じるいくつもの葛藤を理解し、それを子ども自身が言葉で伝えることができるよう、私たちは優れた聞き手にならなければならぬことを改めて感じることができました。

サマー・スクール（8月19・20日）

夏休み最終日の二日間には、サマー・スクールが行われました。

お手伝いいただく学習ボランティアは、昨年度までは本校在校生の兄弟関係を中心に声を掛けさせて頂いていましたが、今年度より諏訪南中学校・諏訪中学校にも声をかけ、二日間でのべ18人の中学生が学習ボランティアとして参加してくれました。学習の支援もさることながら、色々とお話をできた子どももいて「中学生に教えてもらって良かった。」「始めは、緊張したけどいっぱい話せて良かった。」などといった声も聞かれ、小中一貫教育につながる機会となりました。



ギャラリー「みがく」

本校職員も夏休みを使って、スキルアップや人権感覚をさらに磨くために、多くの研修を行いました。



南部地区合同職員会
(会場：中洲小)



非違行為防止研修
(グループワーク)



現地研修
(テンホウ・フーズ)

〈この他に行った職員研修〉

子ども理解研修(内部講師)・ものづくり研修(外部講師)・学力向上研修など

校内・外環境整備工事

夏休み前から、夏休み中にかけて、校舎内外の環境整備を行っていただきました。音楽室・理科室・図書館といった特別教室にもエアコンが整備されました。また、管理棟校舎の外壁の塗料の劣化などが心配されたため、落下防止用の鉄柵を設置していただきました。この鉄柵は、長期的に使用されますので、鉄柵を囲うパネルに子どもたちの素敵な絵を掲示できないか検討中です。また、図書館周辺の雨漏りに対しても、対応策を検討して頂いています。



学校では、いつでも相談を受け付けております。

心配なこと、不安なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

相談窓口

☆学級担任

☆スクールカウンセラー（県SC:古林 幸子先生 市SC:佐野 由美先生）

☆特別支援教育コーディネーター（川瀬・小林・森本・黒澤）

☆養護教諭（田中）

☆教頭（百瀬）〈SC 窓口〉



※県SC古林先生訪問予定日 9月12日（木）・27日（金）・10月10日（木）

カウンセリングをご希望される方は、担任または教頭までご連絡ください。